

ISPのIPv4アドレス在庫枯渇対応に関する 情報開示ガイドラインについて

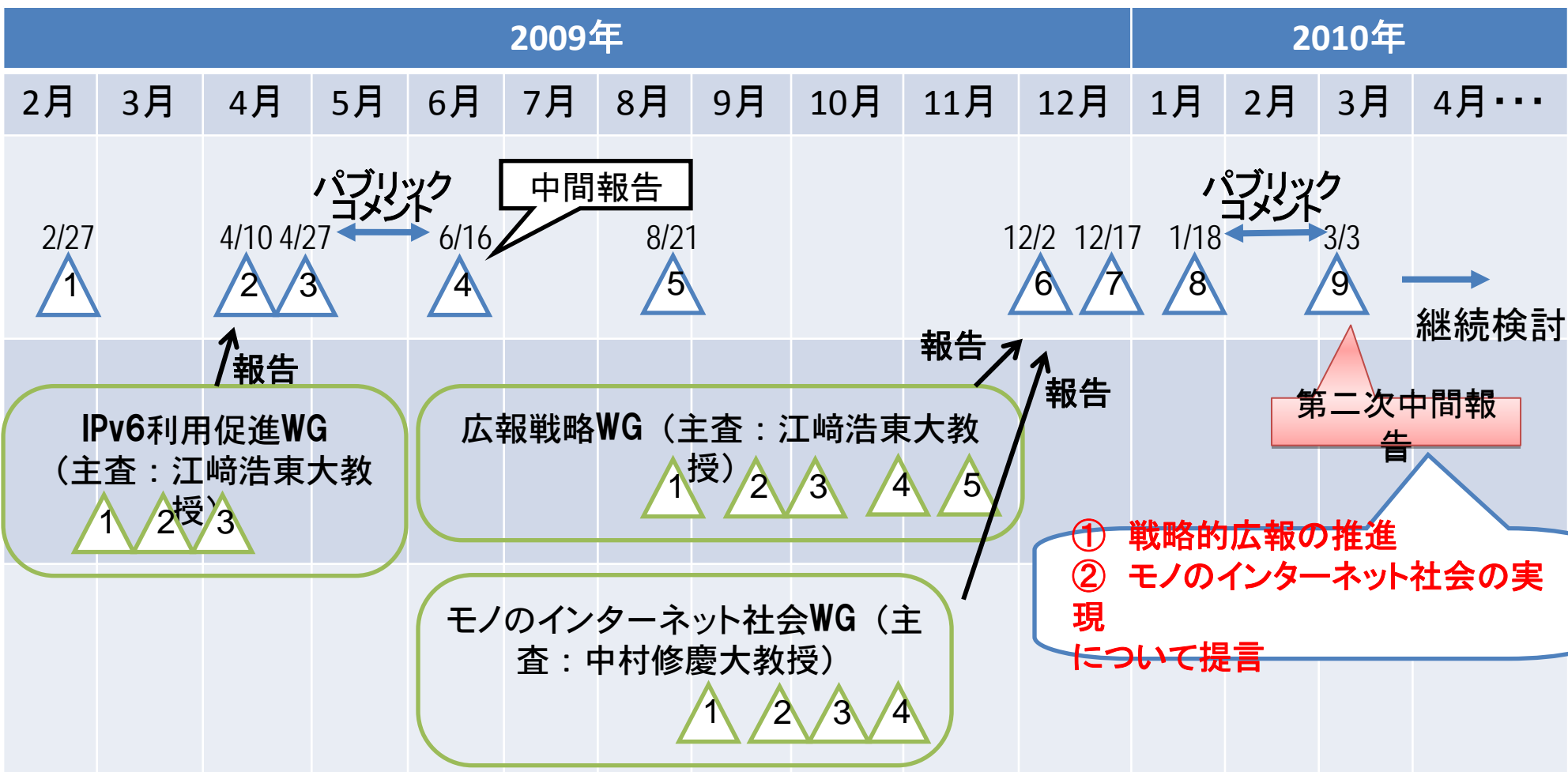
2010年5月26日

総務省総合通信基盤局データ通信課

背景（研究会の開催）

IPv6によるインターネットの利用高度化に関する研究会（座長：齊藤忠夫東大名誉教授）

IPv4アドレス在庫の枯渇後も社会経済の重要インフラであるインターネットの利用環境を確保し、さらなる利便性の向上を図るという観点から、IPv6への対応の着実な推進やその普及促進に関する具体策等について検討



◆ 広報の目的

- 一般ユーザー及び企業ユーザー等におけるIPv4アドレス在庫枯渇による混乱を最小限に

◆ 広報の時期（インターネット関連事業者が対応すべき時期の目標）

- IPv4アドレス在庫が今後2年程度の内枯渇することを前提とし、安定してIPv6技術を利用したサービスが提供可能となるには時間を要することを踏まえ、IPアドレス在庫の枯渇直後ではなく、若干余裕を持たせることが適当
- 2011年初頭までにIPv4アドレス在庫枯渇への対応を行うことが求められる
- ただし、各事業者は、自らの状況を考慮し、最適なスケジュールを立てて対応を行うことが必要

◆ 広報の対象と考え方

➤ インターネット関連事業者向け

✓ 引き続き、IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース等の場を活用し、官民が連携して実施

➤ ユーザー向け

✓ 「インターネットの窓口」を担うISPを通じたアプローチを基本とすることが適当

✓ ISPからの広報と歩調を合わせて、その他のインターネット関連事業者からも適切な広報を行うことが必要

◆ インターネット関連事業者等による適切な広報

➤ ISPによる適切な広報を推進するため、以下の取組が必要

(1) 「ISPのIPv6対応に関する情報開示ガイドライン(仮称)」の策定

✓ ユーザーに生じる混乱を最小限にするため、ISPが早期に開示すべき情報を規定

(2) 「IPv6先行導入実験」の実施と「ユーザーからの問合せ対応マニュアル」の整備

◆ アクセス事業者、モバイル事業者

➤ ISPと同様にユーザーの直接の接点となる事業者であることから、IPv4アドレス在庫枯渇への対応について情報を適時適切に公開することが必要

ISPのIPv4アドレス在庫枯渇対応に関する情報開示ガイドライン

詳細はhttp://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02kiban04_000022.html

◆ ガイドラインの目的

- ISPによる情報提供を促進することを通じ、IPv4アドレス枯渇によってユーザーに生じる混乱を最小限にとどめるとともに、インターネット関連事業者による効果的な枯渇対応を促進

◆ 情報開示の考え方(望ましい対応)

- 可能な限り早期に開示
- 開示が困難な項目については、開示しない旨や開示が可能となる時期の見込み等を示す
(例)開示によって自らの事業に不利益が生じる可能性がある場合、開示情報に関する検討が完了していない場合、他事業者の情報提供がなければ開示できない場合 等
※必要に応じユーザーに適切な説明を行い、ユーザーの理解を得ることが必要
- 枯渇対策を実施せずともユーザーに影響がないと想定される場合は、その旨を適切に広報
- 情報を開示した後も、必要に応じ、適時適切に更新

開示することが望ましい情報①

IPv4アドレス在庫枯渇対応の基本方針

- ① IPv6対応インターネット接続サービス提供の有無
- ② IPv6対応インターネット接続サービス提供開始予定時期
- ③ 既存のIPv4対応インターネット接続サービスの変更又は提供中止の有無
- ④ 既存のIPv4対応インターネット接続サービスの変更又は提供中止予定時期

IPv6対応インターネット接続サービスに関する情報

- ① IPv6対応インターネット接続サービス提供の方法
- ② 提供料金
- ③ 既存のユーザーへの提供及び申込みの要否
- ④ ユーザー側の追加装置やソフトウェアの要否
- ⑤ ユーザー側宅内の機器(PC、ホームゲートウェイ、ADSLモデム等)の設定の変更の要否
- ⑥ 既存のルーターなどの装置の利用の可否、ファームウェアのアップデート等の要否、対応するPCのOSの種別

開示することが望ましい情報②

既存のIPv4対応インターネット接続サービスに関する情報

- ① 既存ユーザーへの影響の有無
- ② 既存ユーザーの申込みの要否
- ③ 既存ユーザーの対応方法や装置、ソフトウェア等の情報
- ④ 新規加入の可否

以下は、IPv4プライベートアドレスを割り当てる場合

- ⑤ IPv4プライベートアドレスを割り当てる対象(新規加入ユーザーに対して割り当てるか、既存ユーザーに対して割り当てるか、双方に割り当てるか)
- ⑥ IPv4プライベートアドレスの提供方法、時期、その他必要な情報(装置、ソフトウェア)など
- ⑦ IPv4プライベートアドレスを割り当てる場合に生じる制限事項

ユーザーサポートに関する情報

- ① サポート提供方法、サポート情報の所在場所
- ② 家庭内でネットワークの構成の変更の要否、必要な場合の家庭内ネットワークの接続方法に関する情報

その他の情報・・・(例)法人ユーザー等を対象とするサービスに関する情報等